

シジミ再生事業について

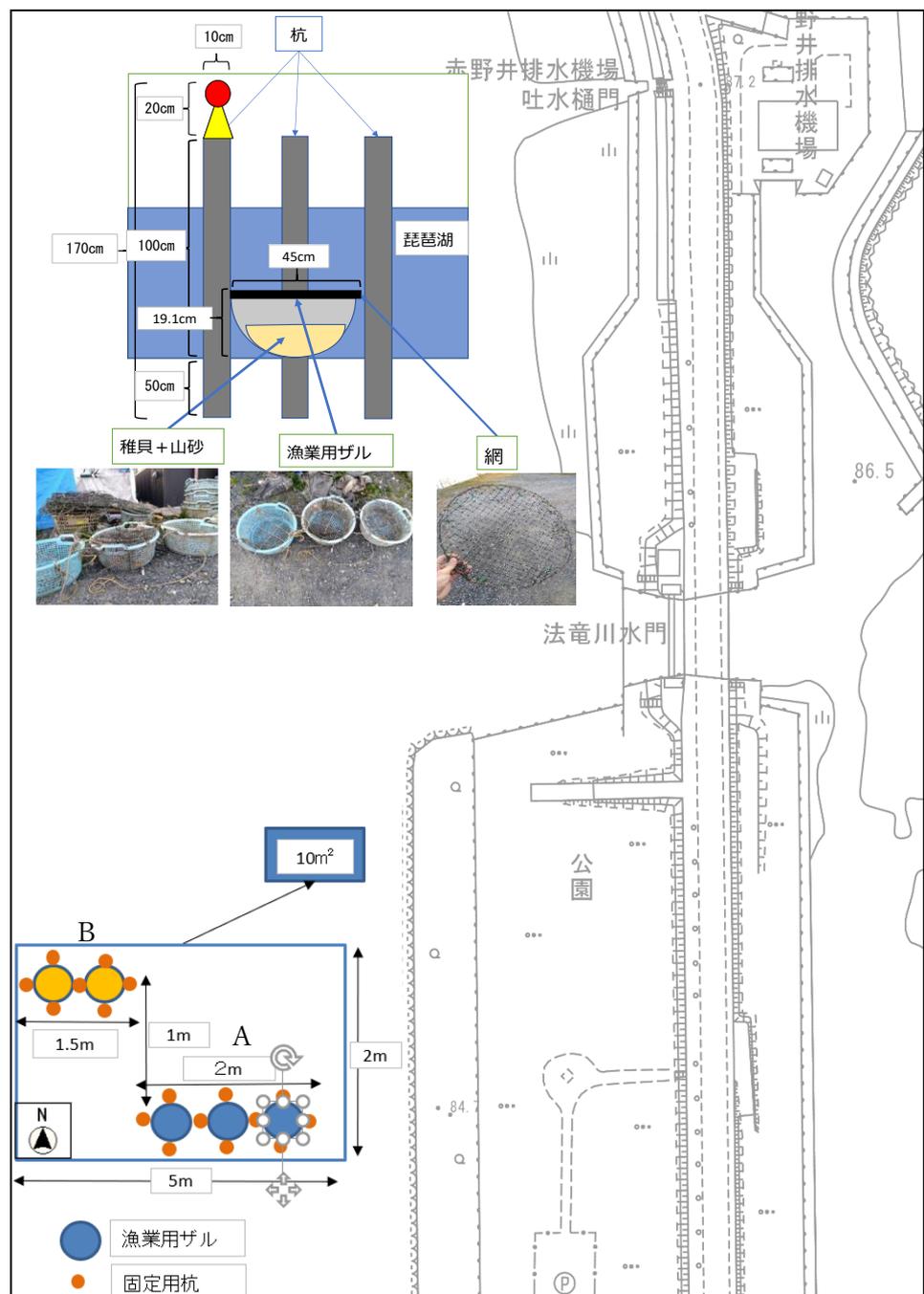
1. 目的

平成 24 年に赤野井湾再生プロジェクトが発足し、ウォッチャー活動をはじめ平成 30 年から湖底ごみ除去活動を継続的に行うことによって赤野井湾に砂地が見えるようになり、それに伴う形でホンモロコの産卵数の増加や淡水真珠の養殖も軌道に乗りつつあることから改善の兆しが見える。

この活動を通して赤野井湾の環境がどれだけ改善されてきたか確認するため、シジミの生育調査を行う。

2. 手法(下図参照)

漁業用のザルに砂を敷き、シジミを入れたザル(A)と砂のみを入れたザル(B)を赤野井湾に沈め、赤野井湾湖底に設置し経過観察を行う。調査期間は令和 9 年 11 月末までの予定。



3. 再生Pとしての目標(案)および調査方法

目標

湖底ごみ除去活動によって砂地に戻ってきているエリアでシジミが生息および成長できること(住みやすい環境に戻ってきているかどうか)



調査方法

- ① シジミを入れたザル(A)内でシジミが生き残るか調査する。
- ② 何も入れていないザル(B)に受精し漂着したシジミが生息するか調査する。

4. 今後の予定

- ① 今年度調査地点での経過観察(成長過程の調査)
- ② 別エリア(にごりがあり水深が少し深いところ)での調査



↑ 漁業用ザル



← 杭にザルを括り付け



↑ 設置後のザルと杭



↑ 看板と夜間に光る灯りを設置